

第10回 IBA-boys 全国中学生軟式野球大会 北海道代表選手権大会



大会ルール、特別規定

A

基本は、2008年度、公認野球規則による。

B

大会参加登録選手及び監督、コーチの登録

- ★ ベンチ登録選手は20名までとする、背番号は「0」番から「20」番までとする。また、監督1名、コーチ2名まではベンチに入ることを許可する。この際ユニフォームを着ていない指導者のベンチ入りを固く禁止する。さらに、監督は30番、コーチは29番、28番の背番号をつけること。事情がある場合は試合前に相手監督、審判員、事務局へ申し出る事。

C

試合時間と試合成立及びコールドゲームの適用

- ★ 試合は、7回戦トーナメント、1時間50分以内とする、(1時間40分を過ぎて次のイニングに入らない)。試合成立は、4回終了とする。暗黒、降雨、得点差によるコールドゲームを適用する。得点差によるコールドゲームは、4回終了時7点差とする。また、暗黒、降雨で試合が中止になった場合、4回以前に終了した場合はノーゲームとし、4回を過ぎて試合が成立し、同点で中止になった場合は、再試合にしないで翌日の第一試合に先立って特別継続試合とする。但し、決勝戦はこの限りではない。(再試合)

D

特別延長戦の適用

- ★ 1時間50分以内で延長戦を行い、勝敗が決しない場合、特別延長戦としてワンアウト満塁で4番打者からとし、勝敗決するまで行う。この際、メンバーの変更は認められない。但し、延長戦に出場していて急な怪我、病気等の場合は、当該チーフアンパイアと両チームの監督が協議して、変更を認めるかどうか決定する。

E

使用球と使用する道具について

- ★ ユニフォームはチーム同一色とし、華美な色は慎むこと、また、捕手はレガーツ、プロテクター、キャッチャーズヘルメットの使用を義務付ける。勿論打者ヘルメットも同様とする。今大会の使用球は「IBA公認球(ローバウンズボール)を使用する。マスコットバット、リング、鉄棒、バットスプレーの使用持込を禁止する。

F

試合の疑義、アピール

- ★ 疑義アピールについては、当該プレーヤーと監督のみとする。監督は疑義の申し立てをするときは「タイム」を宣告し節度ある抗議に徹すること。また、疑義抗議以外でベンチから出ることを禁止する。選手に対してアドバイス等をする時は、伝令を送るか、当該プレーヤーをベンチ前に呼んでアドバイスすること。

G

ベンチ確保、ファールポール、シートノックについて

- ★ ベンチは番号の若い方を一塁側とする。ファールポールは両サイドを各々のベンチで行い、バックネット側は攻撃チームの担当として徹底してください。シートノックは後攻から7分間とする、天候や試合の進行状況によっては中止することもある。シートノックの際はベンチ登録以外の選手がグラウンド内に入ることを許可する。終了時は速やかにグラウンド内から出ること。

H

球場の利用について

- ★ 勝利チームは速やかにグラウンド整備に入ってください。また、ゴミの始末等にもチームの指導を徹底してください。駐車場でのトラブルには関与できませんので、応援者にも指導徹底願います。

I

メンバー交換とブルペン使用について

- 前の試合の4回に入った時点で、各チームの主将はメンバー表4通を持って、事務局に来てください。また、バッテリーのブルペン使用は、5回終了時点から両チームの監督に必ず許可をもらって入ってください。